

# 第3章 地域福祉推進に向けた現状

## 1 日本社会の変化

- 日本社会がかつて農業社会であった頃、人々の多くは農村部で暮らし、生活のほとんどの部分は住民の自治で成り立っており、防犯や保守管理などは住民達の共同作業でした。
- 明治維新以降、工業化が始まり、生産機能は都市に立地し、工業化により増加する人口も都市に流入していきました。
- 戦後、高度経済成長期に入り、工業化は著しく発展し、より多くの人々が都市に集積していくとともに、電化製品や内風呂の普及など人々の暮らしも大きく変わり、「共有」から「家族専用」へと変化していきました。
- さらに、パソコンや携帯電話の普及など「家族専用」から「自分専用」へと進化し、若者は他人から干渉されることを嫌い、「個」の自由さを求めるようになりました。

## 2 地域福祉に関する現状

### (1) 地域コミュニティの現状

- 地域コミュニティとは、地元の町内会、自治会、農村の寄り合い等地縁的なつながりのある様々な組織や集まりといった地域共同体をイメージしますが、総務省は、「生活地域、特定の目標、特定の趣味など、何らかの共通の属性及び仲間意識を持ち、相互にコミュニケーションを行っているような集団(人々や団体)」と定義しています。
- 地域コミュニティは、冠婚葬祭、福祉などの相互扶助機能、文化や伝統の管理・継承を行う地域文化維持機能、まちづくりや防災等地域全体に関わる事案で地域住民の協力が不可欠な課題の調整を行う総合利害調整機能といった役割を果たしてきました。
- しかしながら、人口減少・少子高齢化が進展し、個の自由を求める風潮の中で、ライフスタイルの変化や個人の価値観が多様化するとともに、核家族化や単身世帯等家族機能の変化、地縁・血縁・社縁の脆弱化により共同体機能が低下しています。
- 加えて、戦後の経済成長は急激な人口変動と移動を誘発し、人口分布を大きく変容させ、高度経済成長期以降、都市と地方でそれぞれ別の問題を引き起こしました。
- 都市では、人口集中の結果、居住環境の悪化、慢性的な交通渋滞、自然環境の喪失等、労働者の就業状態、住民の生活環境に悪影響を及ぼし、また単身者の増加や核家族化が急速に進み、地域との結びつきや人々との絆が弱くなっています。
- 中山間地域では、若者の流出により地域社会の構成員が減少し、限界集落のようなところでは、地域社会の維持さえ難しい状況となり、買い物や交通などの支援の在り方と地域の在り方を併せて検討することが急務となっています。
- 地域では、民生委員・児童委員や自治会役員等が見守りを行うなど、安心して暮らせる地域の実現に向けて、様々な取組を進めてきましたが、人口減少が本格化することで、担い手の確保が進まず、地域で課題を解決する力(地域力)が、更に低下する恐れがあります。

### 《災害を教訓とした地域コミュニティづくりへの動き》

- 一方、本県では、平成30年7月豪雨災害を経験して、命を守るためには、お互いに助け合うことが重要であること、災害から生じる課題の解決に、何らかの形で参加・参画し、力を合わせることの大切さを学び、コミュニティの大切さが再認識され、住民団体による防災活動等の団地復興に向けた取組やサロン活動が生まれています。

### (2) これまでの福祉制度では対応できない課題の顕在化

- これまで、福祉制度では、個々のリスク・課題の解決を目的として、高齢者・障害者といった対象者別に、公的な福祉サービスを提供してきました。
- しかしながら、地域コミュニティが希薄化した地域では、
  - ・電球の取替え、ゴミ出し、通知の代読など、公的制度では対応できないもの
  - ・ごみ屋敷や多頭飼育など、制度の狭間にあるもの
  - ・要介護の親とひきこもりの子が同居する世帯への対応など、複合的なもの
  - ・虐待、孤立死、悪質商法被害など、地域で生活している人でも見えづらいもの
  - ・防災・防犯など、安全・安心に暮らすために住民の誰にも関係し、備えが必要なもの
  - ・人とかかわり合いたくないなど、自らの選択で社会から孤立しているものなど、対象者別の福祉制度では解決が困難な課題や、様々な生活課題が顕在化しています。
- また、医療的ケア児やその家族、難病患者、矯正施設退所者など地域の課題として共有されにくい問題もあります。
- 一方で、災害時のペットとの同行避難のあり方なども含め、人と動物が共存できる社会の実現も求められています。

### (3) 多様な主体と協働した共助による新たな支え合いの必要性

- こうした様々な生活課題に対して、公的な福祉サービスだけでは対応できないことが明らかになっています。
- このため、行政だけでなく、企業・ボランティアやNPO、住民団体など多様な民間の主体が担い手となり、行政と協働しながら、きめ細かな活動により、地域の生活課題を解決することが求められています。
- このように、多様な主体が協働したインフォーマルな支え合いによる新たなコミュニティづくりを進めることは、ソーシャル・キャピタルの向上にもつながると考えています。

### (4) 避難情報等発令時の避難行動要支援者対策、外国人の増加

- 全国では毎年のように災害が発生していますが、本県においても、平成30年7月豪雨災害を受けて、避難情報等発令時の住民による避難行動要支援者への取組が広がっています。
- また、県内では、地域で生活する外国人が増加していることから、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築きながら共に生きていく、「多文化共生」の社会づくりの必要性が高まっています。

## 第3章 地域福祉推進に向けた現状

### 3 地域福祉政策の動向

- 社会構造が変化する中、平成12(2000)年の社会福祉基礎構造改革により、社会福祉事業法が改正・改称された社会福祉法には、住民参加による地域福祉の推進が体系的に位置付けられました。
- 地域包括ケアシステムの構築、コミュニティソーシャルワーカーの配置、社会福祉法人の地域公益活動、生活困窮者支援など、世代を超えて孤立を解消し、自立支援を進める施策に取り組んできました。
- 一方で、縦割りの制度構造による制約や、福祉サービスが「措置」ではなく、利用者と福祉事業者との「契約」によって提供され、「提供者」と「利用者」という二分する構造になったことにより、結果として、従来はあった地域の支え合いといった福祉力を、専門職が代替してきたという側面もあります。
- こうした状況を踏まえ、地域共生社会の実現に向けて、平成29(2017)年の社会福祉法が改正され、「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念のもとで、住民と関係機関等の協働による包括的支援体制づくりなど、本格的に地域福祉が政策化されました。

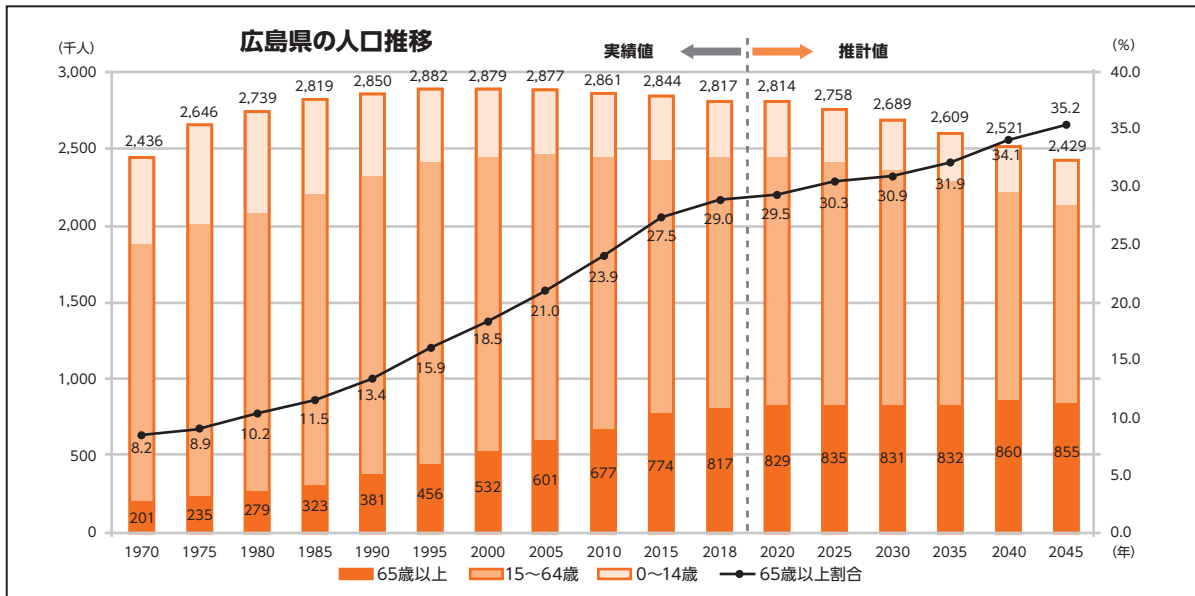
区分	高齢者	障害者	子供・子育て	生活保護・生活困窮者	地域福祉
2000	介護保険法制定 ・措置から契約へ	身体・知的障害者福祉法改正 ・措置から契約へ	子ども・子育て関連三法成立 ・地域子育て支援拠点	生活困窮者自立支援法制定 ・生活困窮者自立相談支援機関の設置	社会福祉法制定 ・住民参加による地域福祉が明確化
2003					
2005	介護保険法改正 ・地域包括支援C創設				
2012	介護保険法改正 ・地域包括ケアシステムの推進				
2013					
2014	医療介護総合確保推進法施行 ・生活支援サービスの充実・強化		子どもの貧困対策の推進に関する法律施行 ・地域による学習支援等		
2015					社会福祉法改正 ・社会福祉法人地域貢献
2016		障害者総合支援法改正 ・障害者の望む地域生活の支援	母子保護法改正 ・子育て世代包括支援センター		
ニッポン一億総活躍プラン（地域共生社会の推進）					
2017					社会福祉法改正 ・地域共生社会推進

## 4 本県の現状

### (1) 本県の人口・出生数・平均世帯人員等の状況

#### ① 本県の人口推移

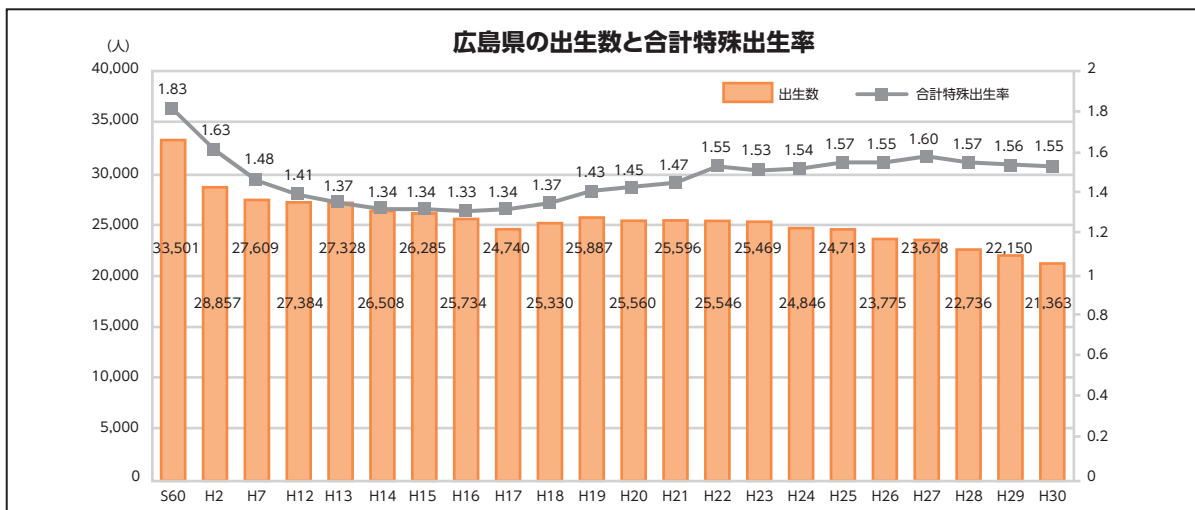
- 本県の人口は平成10(1998)年の288万人をピークに減少しており、令和22(2040)年にはピーク時から約36万人減の252万人になると推計されています。
- 高齢者人口は、令和7(2025)年までは増加が続き、以降、減少傾向になりますが、団塊ジュニア世代の高齢化により、令和22(2040)年には再び増加することが見込まれています。



出典：2015年までは総務省「国勢調査」、2018年は総務省「人口推計」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。

#### ② 出生数及び合計特殊出生率の推移

- 平成30(2018)年の出生数は21,363人で、平成22(2010)年以降減少傾向で推移しています。
- 平成30(2018)年の合計特殊出生率は1.55で、平成22(2010)年以降横ばいで推移しています。

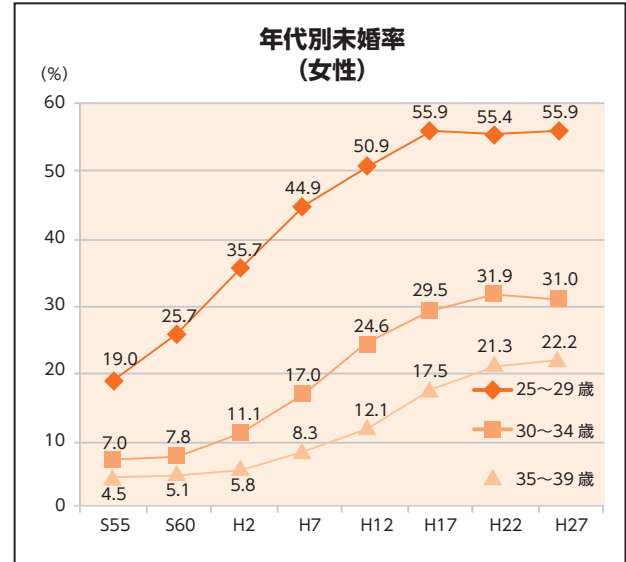
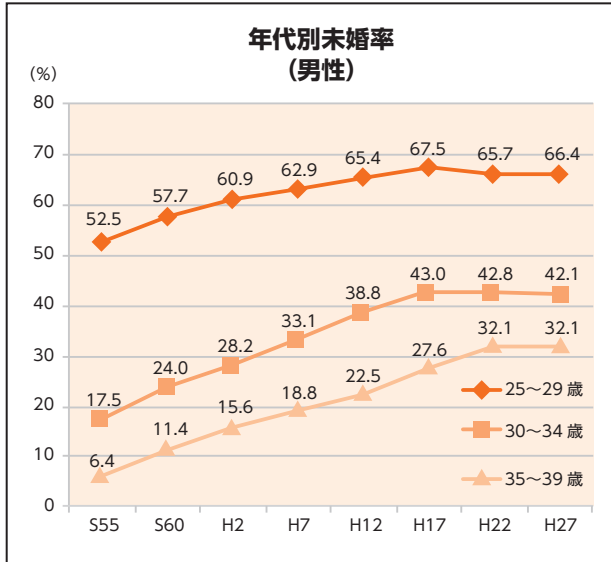


出典：広島県「人口動態調査」。H30は厚生労働省「人口動態統計」

### 第3章 地域福祉推進に向けた現状

#### ③ 本県の年代別未婚率の推移

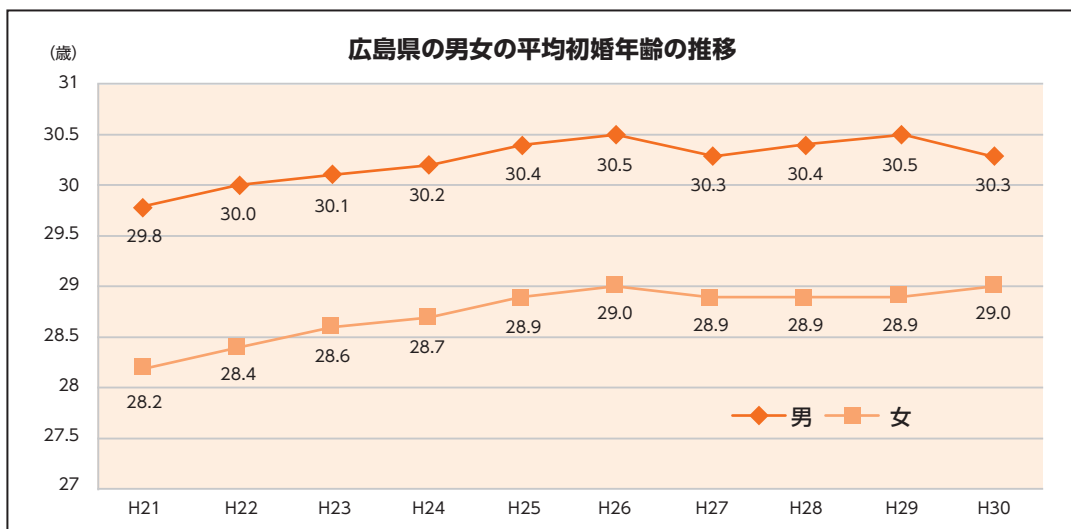
- 年代別未婚率については、各年代、男性・女性とも上昇傾向にあり、平成27(2015)年における35歳から39歳までの未婚率は、男性32.1%、女性22.2%となっています。



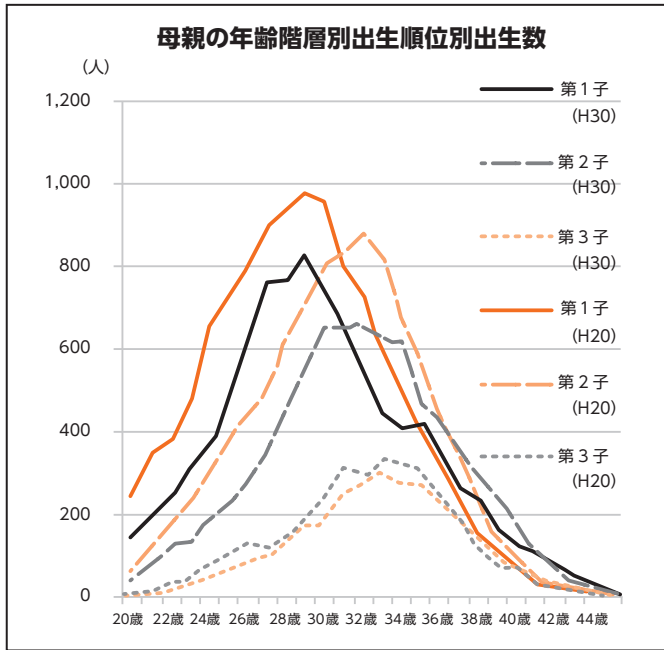
出典：総務省「国勢調査」

#### ④ 本県の晩婚化の状況

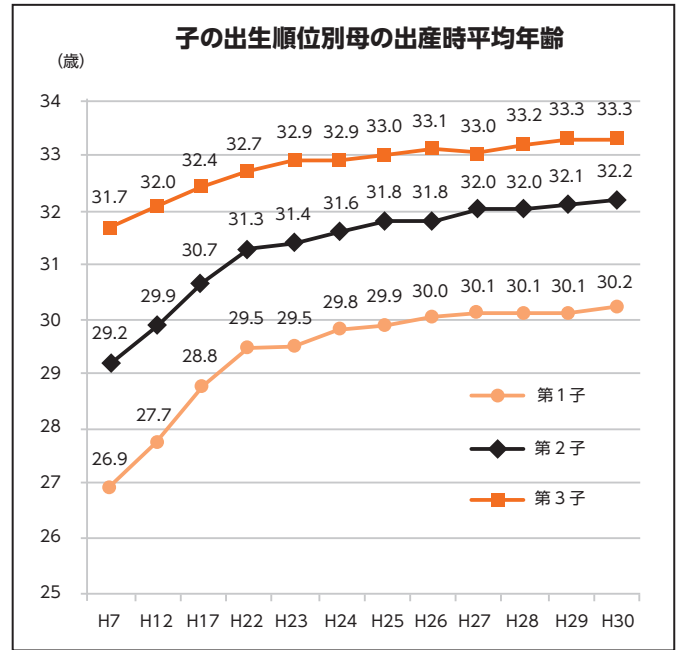
- 男女別の平均初婚年齢について、近年横ばいで推移しているものの、長期トレンドでは上昇傾向にあり、晩婚化が進んでいます。
- また、母の年齢別出生数について、平成20(2008)年と平成30(2018)年の第1子を比較すると、出生数は減少しているとともに、35歳で初めて20年と30年が逆転し、37歳以降は20年よりも30年が上回る状況にある等、晩産化が進んでいます。
- さらに、母の出産時平均年齢を見ると、第1子の出産年齢は急激に上昇しており、第1子の晩産化が出生数の減少に影響している可能性があります。



出典：厚生労働省「人口動態統計」



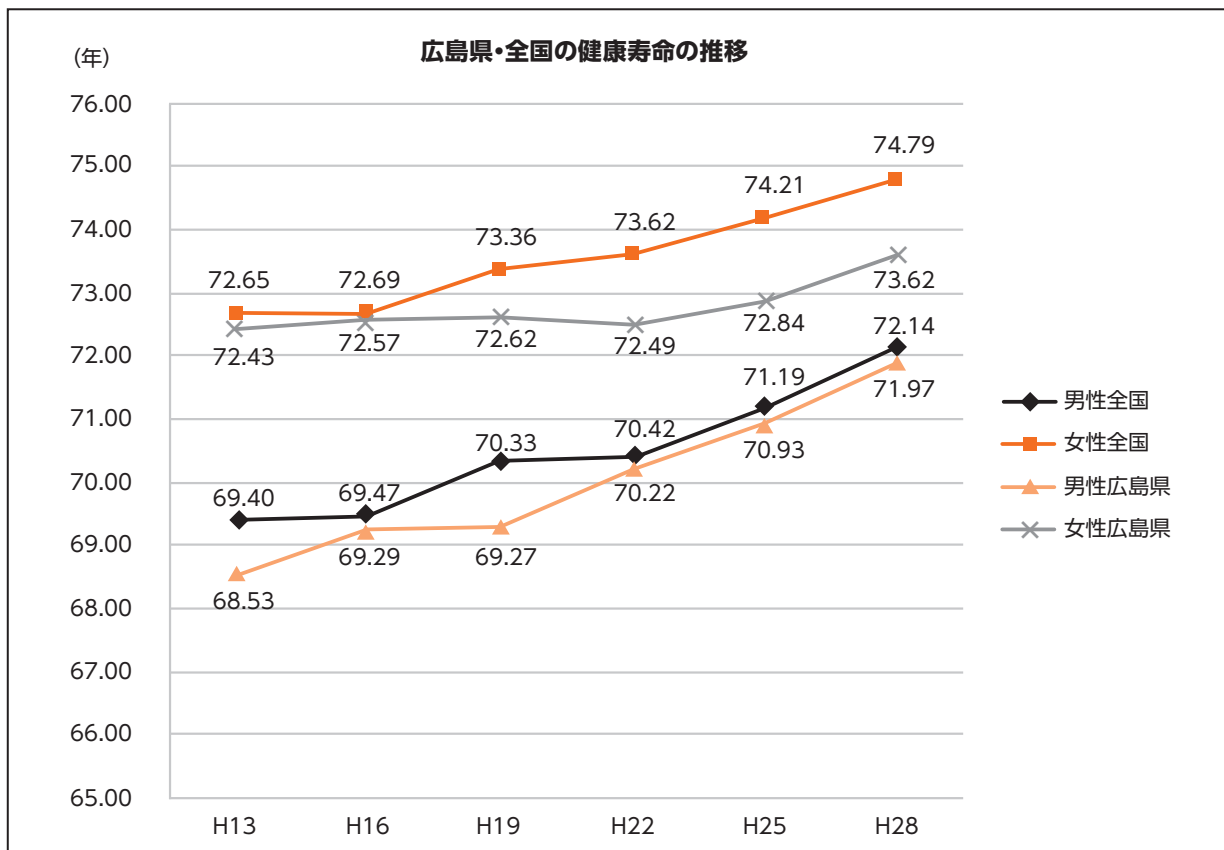
出典：厚生労働省「人口動態統計」



出典：厚生労働省「人口動態統計」

⑤ 健康寿命の推移

- 本県の健康寿命は、男女とも全国平均を下回って推移しており、平成28(2016)年における女性の健康寿命は73.62年となっており、全国で最も低くなっています。

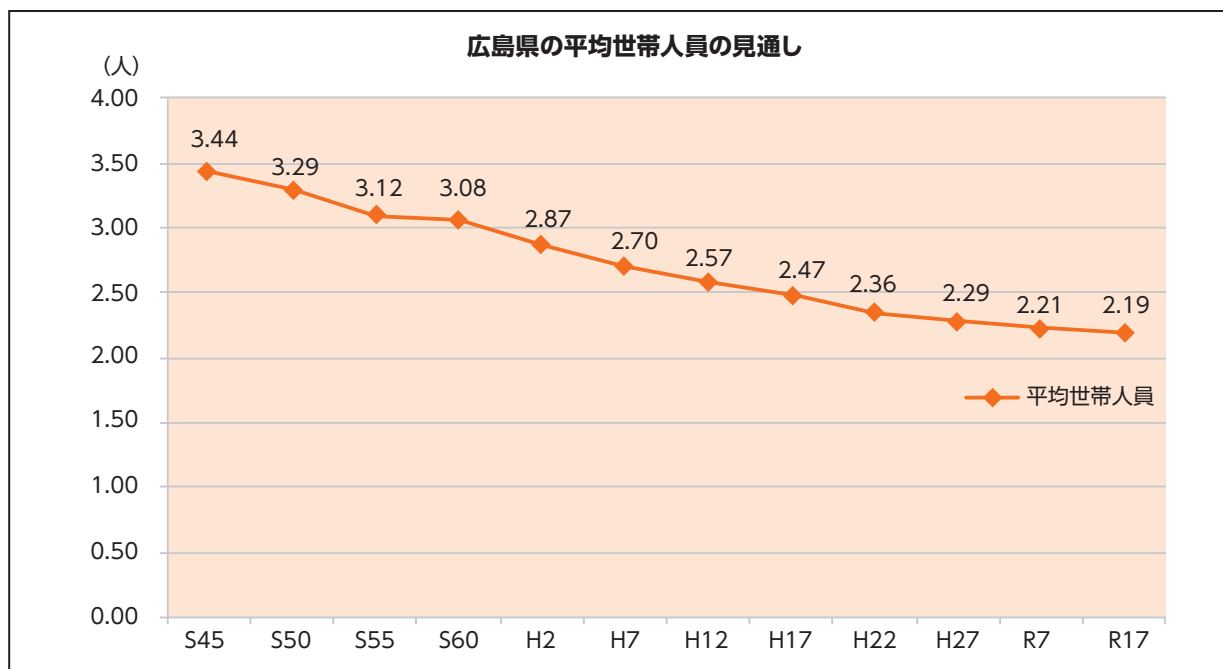


出典：厚生労働省の調査

### 第3章 地域福祉推進に向けた現状

#### ⑥ 平均世帯人員の推移

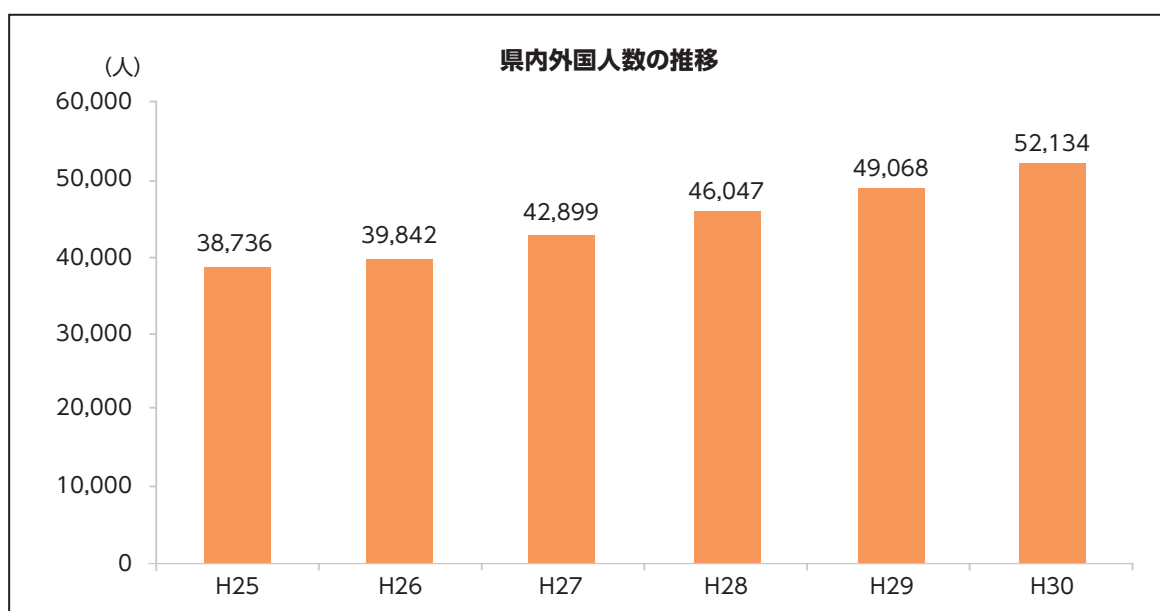
- 本県の平均世帯人員は、昭和45(1970)年以降減少し続けており、令和17(2035)年には2.19人となる見通しです。



出典：2015年までは県統計課，2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2019年度版）」

#### ⑦ 本県の外国人の状況

- 本県における外国人数は、年々増加しており、平成30(2018)年は52,134人と、平成25(2013)年と比較して約14,000人増加しています。



出典：人口移動統計調査及び法務省入国管理局「在留外国人統計」※在留外国人数は各年12月末現在



## (2) 地域とのつながりの状況等

〔「地域コミュニティに関する県民意識調査」(令和元(2019)年9月 広島県)より〕

※沿岸部(9市4町):広島市,呉市,竹原市,三原市,尾道市,福山市,大竹市,東広島市,廿日市市,府中町,海田町,熊野町,坂町  
 ※中山間部(5市5町):府中市,三次市,庄原市,安芸高田市,江田島市,安芸太田町,北広島町,世羅町,神石高原町,大崎上島町として整理

調査項目	① 近所の方との付き合い頻度	② 地域の行事や活動への参加頻度
結果概要	<p>・県全体についてみると、「よく付き合っている」と回答した人の割合は54.3%と半数以上を占めています。</p> <p>・沿岸部と中山間部についてみると、中山間部の「よく付き合っている」と回答した人の割合は75.3%と、沿岸部(51.4%)を23.9ポイント上回っています。</p> <p>※「よく付き合っている」:「親しく付き合っている」+「ときどき世間話や立ち話をする」と回答した人の割合</p> <p>※「付き合いがない」:「会えばあいさつをする」+「顔を知っているが声をかけることはない」+「ほとんど付き合いがない」と回答した人の割合</p>	<p>・県全体についてみると、「参加している」及び「参加していない」と回答した人の割合は、ほぼ同割合となっています。</p> <p>・沿岸部と中山間部についてみると、中山間部の「参加している」と回答した人の割合は68.5%と、沿岸部(47.8%)を20.7ポイント上回っています。</p> <p>※「参加している」:「よく参加している」+「ある程度参加している」と回答した人の割合</p> <p>※「参加していない」:「あまり参加していない」+「全く参加していない」と回答した人の割合</p>
県全体	<p>よく付き合っている 3.0% 付き合いがない 42.7% 無回答 54.3%</p>	<p>参加している 0.8% 参加していない 48.9% 無回答 50.3%</p>
沿岸部	<p>よく付き合っている 3.1% 付き合いがない 45.5% 無回答 51.4%</p>	<p>参加している 0.8% 参加していない 51.4% 無回答 47.8%</p>
中山間部	<p>よく付き合っている 2.8% 付き合いがない 21.9% 無回答 75.3%</p>	<p>参加している 1.0% 参加していない 30.5% 無回答 68.5%</p>



### 第3章 地域福祉推進に向けた現状

調査項目	②-1 参加している行事や活動	②-2 行事や活動に参加できない理由																		
結果概要	<p>・県全体についてみると、「町内会・自治会の活動」と回答した人の割合が76.2%と最も高くなっています。</p> <p>・沿岸部と中山間部についてみると、「祭り・盆踊り・運動会などのイベント」で中山間部(70.8%)が沿岸部(44.5%)を26.3ポイント上回っています。</p> <p style="text-align: center;">※複数回答 ※回答の上位4項目のみ記載</p>	<p>・県全体についてみると、「仕事等が忙しく参加する時間がない」と回答した人の割合が40.3%と最も高くなっています。</p> <p>・沿岸部と中山間部についてみると、「行事や活動に関心がない」、「行事や活動がどこであるのかわからない」、「人と関わるのがわずらわしい」のいずれも、沿岸部の割合が中山間部の割合を大きく上回っています。</p> <p style="text-align: center;">※複数回答</p>																		
県全体	<table border="1"> <tr><td>町内会・自治会の活動</td><td>76.2%</td></tr> <tr><td>祭り・盆踊り・運動会などのイベント</td><td>49.0%</td></tr> <tr><td>公園などの美化・清掃活動</td><td>28.2%</td></tr> <tr><td>防災・防犯・交通安全に関する活動</td><td>17.5%</td></tr> </table>	町内会・自治会の活動	76.2%	祭り・盆踊り・運動会などのイベント	49.0%	公園などの美化・清掃活動	28.2%	防災・防犯・交通安全に関する活動	17.5%	<table border="1"> <tr><td>仕事等が忙しく参加する時間がない</td><td>40.3%</td></tr> <tr><td>行事や活動に関心がない</td><td>27.8%</td></tr> <tr><td>行事や活動がどこであるのかわからない</td><td>17.5%</td></tr> <tr><td>人と関わるのがわずらわしい</td><td>15.3%</td></tr> <tr><td>一緒に参加してくれる人がいない</td><td>10.6%</td></tr> </table>	仕事等が忙しく参加する時間がない	40.3%	行事や活動に関心がない	27.8%	行事や活動がどこであるのかわからない	17.5%	人と関わるのがわずらわしい	15.3%	一緒に参加してくれる人がいない	10.6%
町内会・自治会の活動	76.2%																			
祭り・盆踊り・運動会などのイベント	49.0%																			
公園などの美化・清掃活動	28.2%																			
防災・防犯・交通安全に関する活動	17.5%																			
仕事等が忙しく参加する時間がない	40.3%																			
行事や活動に関心がない	27.8%																			
行事や活動がどこであるのかわからない	17.5%																			
人と関わるのがわずらわしい	15.3%																			
一緒に参加してくれる人がいない	10.6%																			
沿岸部	<table border="1"> <tr><td>町内会・自治会の活動</td><td>76.2%</td></tr> <tr><td>祭り・盆踊り・運動会などのイベント</td><td>44.5%</td></tr> <tr><td>公園などの美化・清掃活動</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>防災・防犯・交通安全に関する活動</td><td>17.6%</td></tr> </table>	町内会・自治会の活動	76.2%	祭り・盆踊り・運動会などのイベント	44.5%	公園などの美化・清掃活動	29.1%	防災・防犯・交通安全に関する活動	17.6%	<table border="1"> <tr><td>仕事等が忙しく参加する時間がない</td><td>40.4%</td></tr> <tr><td>行事や活動に関心がない</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>行事や活動がどこであるのかわからない</td><td>18.2%</td></tr> <tr><td>人と関わるのがわずらわしい</td><td>16.1%</td></tr> <tr><td>一緒に参加してくれる人がいない</td><td>10.7%</td></tr> </table>	仕事等が忙しく参加する時間がない	40.4%	行事や活動に関心がない	29.2%	行事や活動がどこであるのかわからない	18.2%	人と関わるのがわずらわしい	16.1%	一緒に参加してくれる人がいない	10.7%
町内会・自治会の活動	76.2%																			
祭り・盆踊り・運動会などのイベント	44.5%																			
公園などの美化・清掃活動	29.1%																			
防災・防犯・交通安全に関する活動	17.6%																			
仕事等が忙しく参加する時間がない	40.4%																			
行事や活動に関心がない	29.2%																			
行事や活動がどこであるのかわからない	18.2%																			
人と関わるのがわずらわしい	16.1%																			
一緒に参加してくれる人がいない	10.7%																			
中山間部	<table border="1"> <tr><td>町内会・自治会の活動</td><td>76.4%</td></tr> <tr><td>祭り・盆踊り・運動会などのイベント</td><td>70.8%</td></tr> <tr><td>公園などの美化・清掃活動</td><td>23.6%</td></tr> <tr><td>防災・防犯・交通安全に関する活動</td><td>16.7%</td></tr> </table>	町内会・自治会の活動	76.4%	祭り・盆踊り・運動会などのイベント	70.8%	公園などの美化・清掃活動	23.6%	防災・防犯・交通安全に関する活動	16.7%	<table border="1"> <tr><td>仕事等が忙しく参加する時間がない</td><td>37.5%</td></tr> <tr><td>行事や活動に関心がない</td><td>12.5%</td></tr> <tr><td>行事や活動がどこであるのかわからない</td><td>9.4%</td></tr> <tr><td>人と関わるのがわずらわしい</td><td>6.3%</td></tr> <tr><td>一緒に参加してくれる人がいない</td><td>9.4%</td></tr> </table>	仕事等が忙しく参加する時間がない	37.5%	行事や活動に関心がない	12.5%	行事や活動がどこであるのかわからない	9.4%	人と関わるのがわずらわしい	6.3%	一緒に参加してくれる人がいない	9.4%
町内会・自治会の活動	76.4%																			
祭り・盆踊り・運動会などのイベント	70.8%																			
公園などの美化・清掃活動	23.6%																			
防災・防犯・交通安全に関する活動	16.7%																			
仕事等が忙しく参加する時間がない	37.5%																			
行事や活動に関心がない	12.5%																			
行事や活動がどこであるのかわからない	9.4%																			
人と関わるのがわずらわしい	6.3%																			
一緒に参加してくれる人がいない	9.4%																			

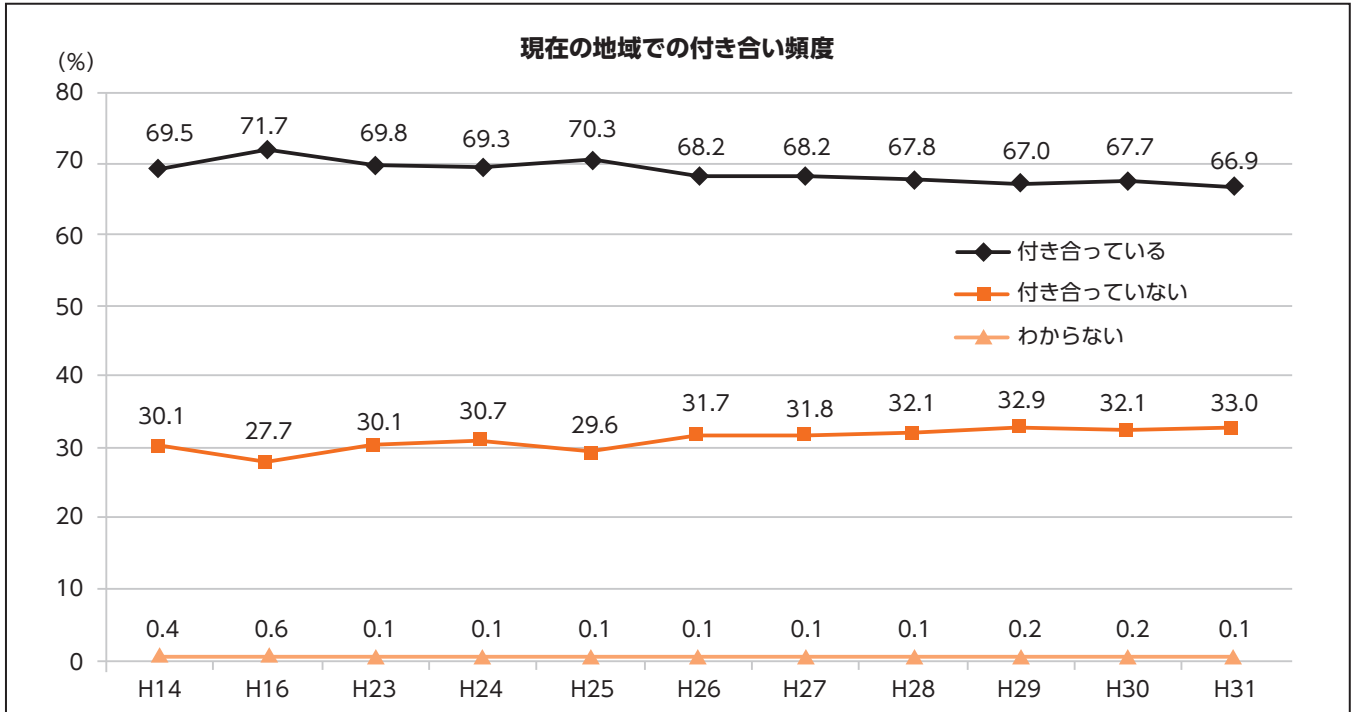
調査項目	②—3 ボランティア活動や地域活動に参加 したいと思える条件	③ 困りごとや悩みに対して地域の方同士 での助け合いができていますか																		
結果概要	<p>・県全体についてみると、「時間的に参加可能な内容である」と回答した人の割合が45.6%と最も高くなっています。</p> <p>・沿岸部と中山間部についてみると、「時間的に参加可能な内容である」と回答した人の割合が、沿岸部(47.1%)、中山間部(28.1%)と、最も大きな差(19.0ポイント)となっています。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※複数回答 ※回答の上位4項目のみ記載</p> </div>	<p>・県全体についてみると、「できている」と回答した人の割合は48.3%であり、「できていない」(43.1%)を5.2ポイント上回っています。</p> <p>・沿岸部と中山間部についてみると、「できている」の割合は、中山間部で5割を上回っているが、沿岸部では5割を下回っています。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※「できている」:「できている」+「ある程度できている」と回答した人の割合 ※「できていない」:「あまりできていない」+「できていない」と回答した人の割合</p> </div>																		
県全体	<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>県全体 参加条件の割合</caption> <thead> <tr> <th>条件</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間的に参加可能な内容である</td> <td>45.6%</td> </tr> <tr> <td>体力的に参加可能な内容である</td> <td>32.1%</td> </tr> <tr> <td>活動の目的・内容等の情報が示されている</td> <td>19.4%</td> </tr> <tr> <td>仲間や友人と一緒に参加できる</td> <td>18.0%</td> </tr> </tbody> </table>	条件	割合	時間的に参加可能な内容である	45.6%	体力的に参加可能な内容である	32.1%	活動の目的・内容等の情報が示されている	19.4%	仲間や友人と一緒に参加できる	18.0%	<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>県全体 助け合いの割合</caption> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できている</td> <td>48.3%</td> </tr> <tr> <td>できていない</td> <td>43.1%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>8.6%</td> </tr> </tbody> </table>	状態	割合	できている	48.3%	できていない	43.1%	無回答	8.6%
条件	割合																			
時間的に参加可能な内容である	45.6%																			
体力的に参加可能な内容である	32.1%																			
活動の目的・内容等の情報が示されている	19.4%																			
仲間や友人と一緒に参加できる	18.0%																			
状態	割合																			
できている	48.3%																			
できていない	43.1%																			
無回答	8.6%																			
沿岸部	<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>沿岸部 参加条件の割合</caption> <thead> <tr> <th>条件</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間的に参加可能な内容である</td> <td>47.1%</td> </tr> <tr> <td>体力的に参加可能な内容である</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>活動の目的・内容等の情報が示されている</td> <td>19.5%</td> </tr> <tr> <td>仲間や友人と一緒に参加できる</td> <td>18.5%</td> </tr> </tbody> </table>	条件	割合	時間的に参加可能な内容である	47.1%	体力的に参加可能な内容である	33.3%	活動の目的・内容等の情報が示されている	19.5%	仲間や友人と一緒に参加できる	18.5%	<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>沿岸部 助け合いの割合</caption> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できている</td> <td>47.3%</td> </tr> <tr> <td>できていない</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>8.3%</td> </tr> </tbody> </table>	状態	割合	できている	47.3%	できていない	44.4%	無回答	8.3%
条件	割合																			
時間的に参加可能な内容である	47.1%																			
体力的に参加可能な内容である	33.3%																			
活動の目的・内容等の情報が示されている	19.5%																			
仲間や友人と一緒に参加できる	18.5%																			
状態	割合																			
できている	47.3%																			
できていない	44.4%																			
無回答	8.3%																			
中山間部	<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>中山間部 参加条件の割合</caption> <thead> <tr> <th>条件</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間的に参加可能な内容である</td> <td>28.1%</td> </tr> <tr> <td>体力的に参加可能な内容である</td> <td>18.8%</td> </tr> <tr> <td>活動の目的・内容等の情報が示されている</td> <td>18.8%</td> </tr> <tr> <td>仲間や友人と一緒に参加できる</td> <td>9.4%</td> </tr> </tbody> </table>	条件	割合	時間的に参加可能な内容である	28.1%	体力的に参加可能な内容である	18.8%	活動の目的・内容等の情報が示されている	18.8%	仲間や友人と一緒に参加できる	9.4%	<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>中山間部 助け合いの割合</caption> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できている</td> <td>55.2%</td> </tr> <tr> <td>できていない</td> <td>34.3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>10.5%</td> </tr> </tbody> </table>	状態	割合	できている	55.2%	できていない	34.3%	無回答	10.5%
条件	割合																			
時間的に参加可能な内容である	28.1%																			
体力的に参加可能な内容である	18.8%																			
活動の目的・内容等の情報が示されている	18.8%																			
仲間や友人と一緒に参加できる	9.4%																			
状態	割合																			
できている	55.2%																			
できていない	34.3%																			
無回答	10.5%																			

### 第3章 地域福祉推進に向けた現状

調査項目	③—1 困りごとに関して地域の方からして もらいたい手助け	④ 10年前と比較した地域のつながり																				
結果概要	<p>・県全体についてみると、「災害や急病など緊急時の手助け」と回答した人の割合が57.8%と最も高くなっています。</p> <p>・沿岸部と中山間部についても同様に、「災害や急病など緊急時の手助け」の割合が最も高く、他の項目を大きく上回っています。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※複数回答 ※回答の上位4項目のみ記載</p> </div>	<p>・県全体についてみると、「強くなっている」と回答した人の割合は8.6%と、「弱くなっている」(43.5%)の割合を大きく下回っています。</p> <p>・沿岸部と中山間部についても同様に、「強くなっている」の割合は、「弱くなっている」の割合を大きく下回っています。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※「強くなっている」:「強くなっている」+「やや強くなっている」と回答した人の割合 ※「弱くなっている」:「やや弱くなっている」+「弱くなっている」と回答した人の割合</p> </div>																				
県全体	<table border="1"> <caption>県全体の手助け希望割合</caption> <tr><th>手助けの種類</th><th>割合</th></tr> <tr><td>災害や急病など緊急時の手助け</td><td>57.8%</td></tr> <tr><td>日頃からの声かけや安否確認などの見守り</td><td>22.9%</td></tr> <tr><td>何もしてほしくない</td><td>10.7%</td></tr> <tr><td>話し相手</td><td>10.3%</td></tr> </table>	手助けの種類	割合	災害や急病など緊急時の手助け	57.8%	日頃からの声かけや安否確認などの見守り	22.9%	何もしてほしくない	10.7%	話し相手	10.3%	<table border="1"> <caption>県全体のつながりの変化割合</caption> <tr><th>変化の種類</th><th>割合</th></tr> <tr><td>強くなっている</td><td>8.6%</td></tr> <tr><td>弱くなっている</td><td>43.5%</td></tr> <tr><td>変わらない</td><td>31.0%</td></tr> <tr><td>分からない・無回答</td><td>16.9%</td></tr> </table>	変化の種類	割合	強くなっている	8.6%	弱くなっている	43.5%	変わらない	31.0%	分からない・無回答	16.9%
手助けの種類	割合																					
災害や急病など緊急時の手助け	57.8%																					
日頃からの声かけや安否確認などの見守り	22.9%																					
何もしてほしくない	10.7%																					
話し相手	10.3%																					
変化の種類	割合																					
強くなっている	8.6%																					
弱くなっている	43.5%																					
変わらない	31.0%																					
分からない・無回答	16.9%																					
沿岸部	<table border="1"> <caption>沿岸部の手助け希望割合</caption> <tr><th>手助けの種類</th><th>割合</th></tr> <tr><td>災害や急病など緊急時の手助け</td><td>58.5%</td></tr> <tr><td>日頃からの声かけや安否確認などの見守り</td><td>23.8%</td></tr> <tr><td>何もしてほしくない</td><td>10.6%</td></tr> <tr><td>話し相手</td><td>9.8%</td></tr> </table>	手助けの種類	割合	災害や急病など緊急時の手助け	58.5%	日頃からの声かけや安否確認などの見守り	23.8%	何もしてほしくない	10.6%	話し相手	9.8%	<table border="1"> <caption>沿岸部のつながりの変化割合</caption> <tr><th>変化の種類</th><th>割合</th></tr> <tr><td>強くなっている</td><td>8.9%</td></tr> <tr><td>弱くなっている</td><td>42.9%</td></tr> <tr><td>変わらない</td><td>30.8%</td></tr> <tr><td>分からない・無回答</td><td>17.4%</td></tr> </table>	変化の種類	割合	強くなっている	8.9%	弱くなっている	42.9%	変わらない	30.8%	分からない・無回答	17.4%
手助けの種類	割合																					
災害や急病など緊急時の手助け	58.5%																					
日頃からの声かけや安否確認などの見守り	23.8%																					
何もしてほしくない	10.6%																					
話し相手	9.8%																					
変化の種類	割合																					
強くなっている	8.9%																					
弱くなっている	42.9%																					
変わらない	30.8%																					
分からない・無回答	17.4%																					
中山間部	<table border="1"> <caption>中山間部の手助け希望割合</caption> <tr><th>手助けの種類</th><th>割合</th></tr> <tr><td>災害や急病など緊急時の手助け</td><td>52.4%</td></tr> <tr><td>日頃からの声かけや安否確認などの見守り</td><td>15.2%</td></tr> <tr><td>何もしてほしくない</td><td>11.4%</td></tr> <tr><td>話し相手</td><td>14.3%</td></tr> </table>	手助けの種類	割合	災害や急病など緊急時の手助け	52.4%	日頃からの声かけや安否確認などの見守り	15.2%	何もしてほしくない	11.4%	話し相手	14.3%	<table border="1"> <caption>中山間部のつながりの変化割合</caption> <tr><th>変化の種類</th><th>割合</th></tr> <tr><td>強くなっている</td><td>6.7%</td></tr> <tr><td>弱くなっている</td><td>47.6%</td></tr> <tr><td>変わらない</td><td>32.4%</td></tr> <tr><td>分からない・無回答</td><td>13.3%</td></tr> </table>	変化の種類	割合	強くなっている	6.7%	弱くなっている	47.6%	変わらない	32.4%	分からない・無回答	13.3%
手助けの種類	割合																					
災害や急病など緊急時の手助け	52.4%																					
日頃からの声かけや安否確認などの見守り	15.2%																					
何もしてほしくない	11.4%																					
話し相手	14.3%																					
変化の種類	割合																					
強くなっている	6.7%																					
弱くなっている	47.6%																					
変わらない	32.4%																					
分からない・無回答	13.3%																					

**【参考】近隣の方との付き合い頻度〔全国の状況〕**

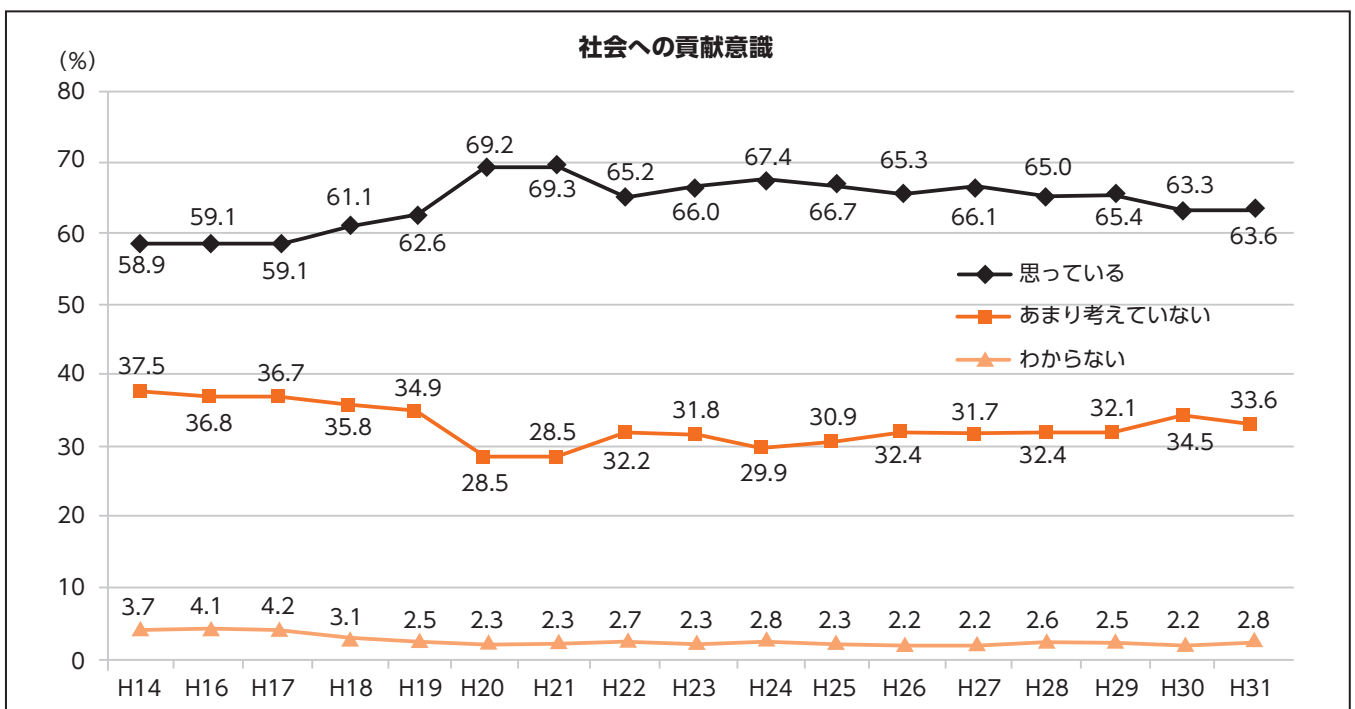
- 現在の地域で「付き合っている」と回答した人は約7割で、徐々に減少傾向にあります。
- 一方、「付き合っていない」と回答した人は約3割で、徐々に増加傾向です。



出典：内閣府 世論調査「社会意識に関する世論調査」

**【参考】社会への貢献意識〔全国の状況〕**

- 「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っているか」との問いに、「思っている」と回答した人は、近年6割以上で推移しています。



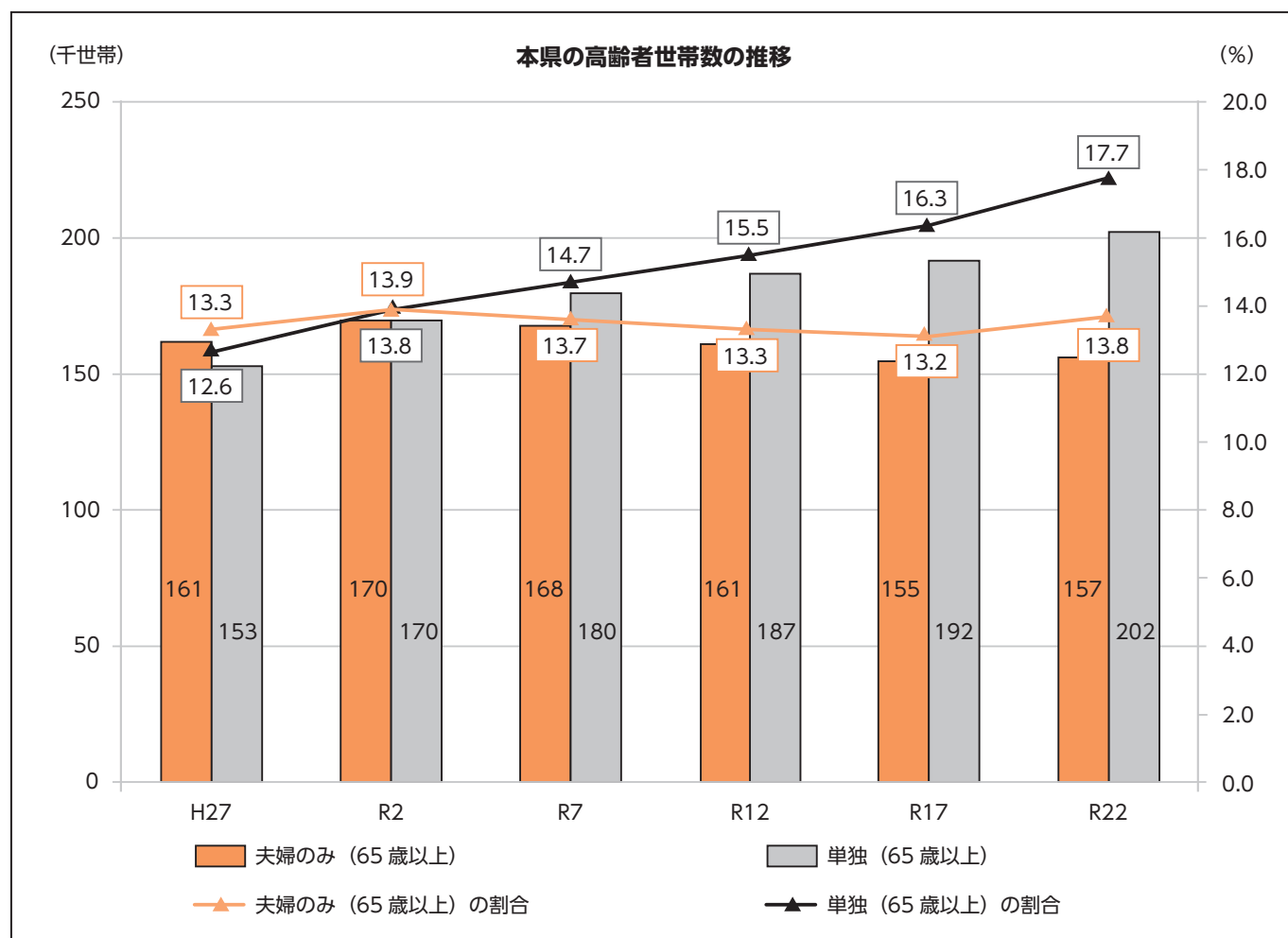
出典：内閣府 世論調査「社会意識に関する世論調査」

## 第3章 地域福祉推進に向けた現状

### (3) 高齢者に関する状況

#### ① 高齢者世代での単身化の進行

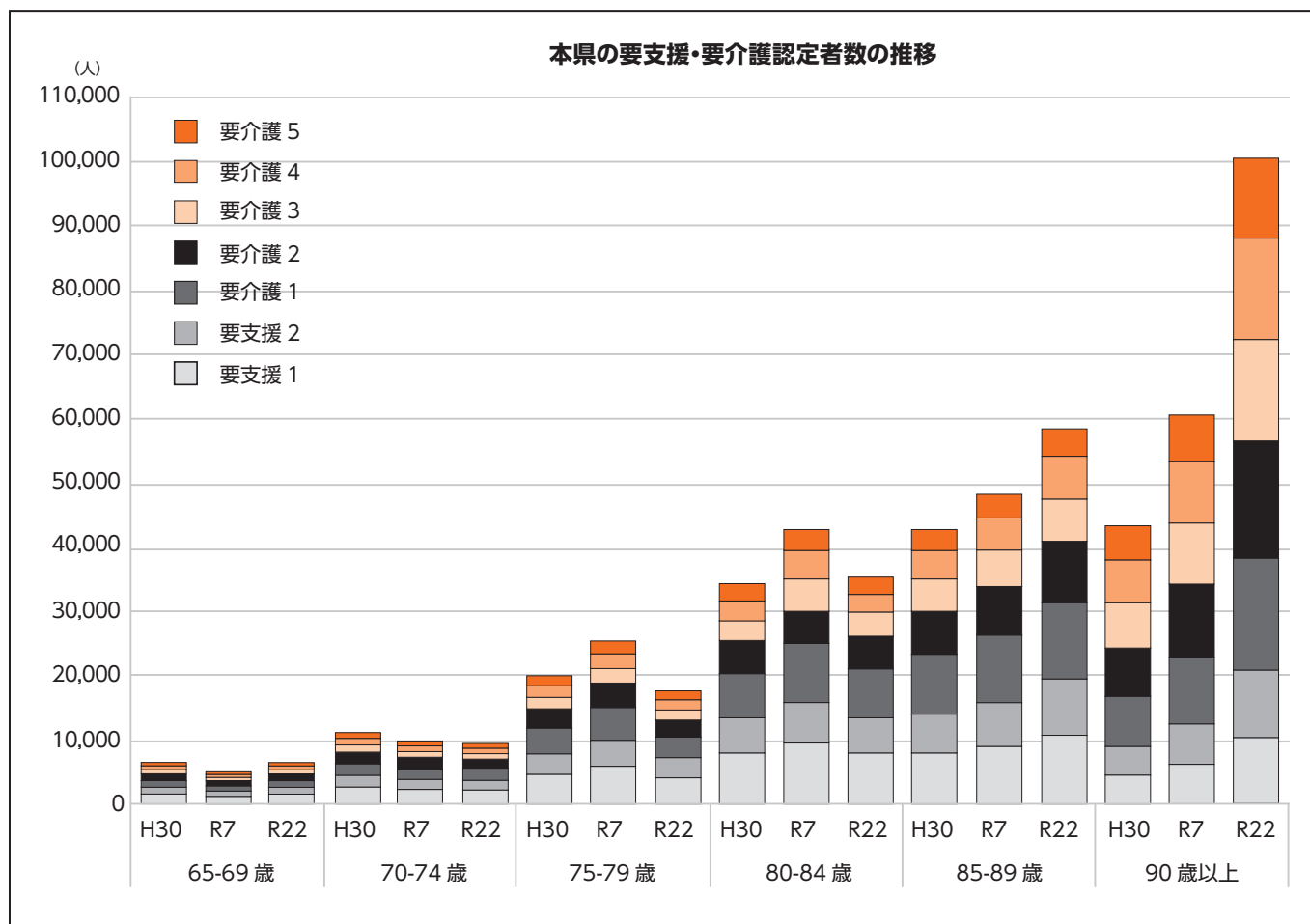
- 平成27(2015)年における県の一般世帯(120万9,288世帯)に占める65歳以上の単独世帯は15万2,860世帯(12.6%),夫婦のみ世帯は16万810世帯(13.3%)となっています。
- 今後も,単独世帯の数は増加を続ける見通しであり,単独世帯と夫婦のみの世帯の差は拡大していくと推測されます。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」（平成31（2019）年推計）

② 本県の年齢別要介護認定者数の推計

- 本県の要支援・要介護認定率は、全国平均よりも高い水準にあり、85歳以上から認定者数が増加しています。



- ・ R7 と R22 要介護度別人口は、平成 30 年 12 月末の認定率を固定し、高齢者人口の伸び率で各年代の計を算出し、各要介護度区分を割合で計算したもの。
- ・ 高齢者人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年 3 月推計）」による。

**要支援・要介護認定率の推移**

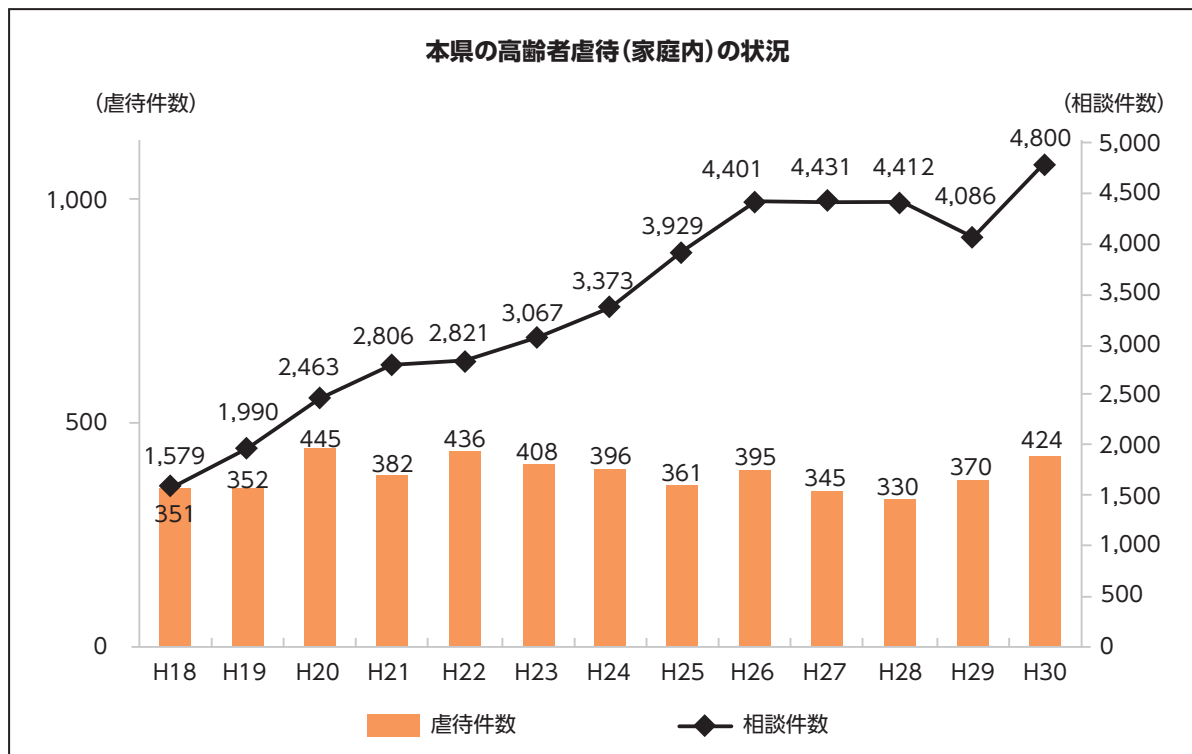
	H12	H15	H18	H21	H24	H27	H28	H29	H30
広島県	13.3%	17.6%	18.4%	18.5%	19.8%	19.4%	19.3%	19.1%	19.1%
全国	11.0%	15.1%	15.9%	16.2%	17.6%	17.9%	18.0%	18.0%	18.3%

出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年度末現在）

### 第3章 地域福祉推進に向けた現状

#### ③ 本県の高齢者虐待の状況(家庭内虐待)

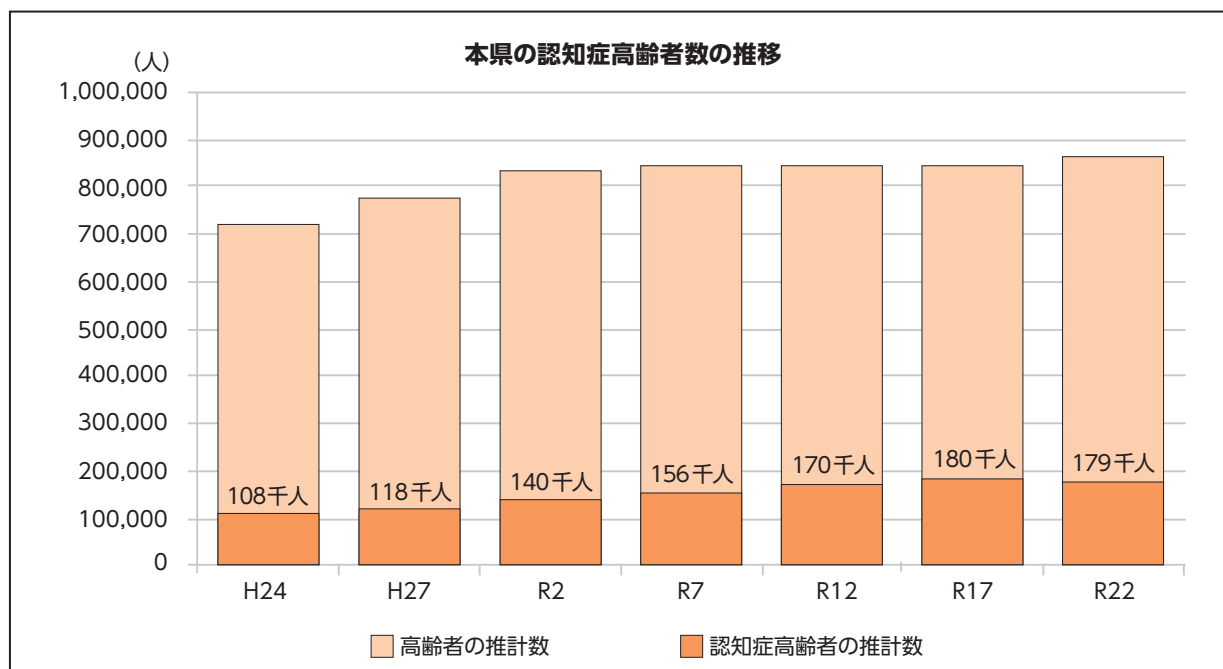
- 家庭内における高齢者虐待については、虐待件数は過去から同水準で推移していましたが、平成30(2018)年度に相談件数・虐待件数ともに増加しています。



出典：広島県地域福祉課調べ

#### ④ 本県の認知症高齢者の状況

- 本県の65歳以上の認知症高齢者の数は、平成27(2015)年には約11万8千人から、令和7(2025)年には約15万6千人になると推計され、今後も増加することが見込まれます。



出典：広島県「第7期ひろしま高齢者プラン」



#### (4) 児童に関する状況

##### ① 本県のひとり親家庭等の状況

- 本県の母子家庭は、平成12(2000)年・17(2005)年調査では、20%を上回る大幅な伸びを示している一方、平成22(2010)年・27(2015)年調査では、それぞれ2.7%、4.3%の伸びにとどまっています。
- 本県の父子家庭は、平成17年調査で8.2%の伸びを示したのに対し、平成22年調査では、5.1%減少し、平成27年調査では微増となっています。

#### ひとり親世帯数

(単位：世帯，%)

項目		H7	H12	H17	H22	H27
母子世帯	広島県	11,502	14,220	17,744	18,216	18,997
		97.2	123.6	124.8	102.7	104.3
	全国	529,631	625,904	749,048	755,972	754,724
		96	118.2	119.7	100.9	99.8
父子世帯	広島県	2,703	2,060	2,229	2,115	2,125
		87.2	76.2	108.2	94.9	100.5
	全国	88,081	87,373	92,285	88,689	84,003
		86.7	99.2	105.6	96.1	94.7

※上段：世帯数，下段：対前回調査伸率 出典：厚生労働省「令和元年度全国福祉主管課長・児童相談所長会議」資料より

##### ② 本県の児童虐待の状況

- 県子ども家庭センターの児童虐待相談件数は、平成21(2009)年度以降、年々増加しており、平成30(2018)年度は4,019件と過去最多となっています。

#### 子ども家庭センター(児童相談所)における児童虐待の相談件数

(単位：件)

年度 区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全国	44,211	56,384*	59,919	66,701	73,802	88,931	103,286	122,575	133,778	159,850**
広島県計	1,633	1,989	2,343	2,398	2,585	3,015	3,082	3,480	3,678	4,019
広島県	1,182	1,275	1,485	1,524	1,559	1,850	1,890	2,066	2,053	2,243
広島市	451	714	858	874	1,026	1,165	1,192	1,414	1,625	1,776

\*平成22年度の全国分については、福島県を除いて集計した数値。

出典：広島県子ども家庭課調べ

\*\*平成30年度の全国分については、速報値

## 第3章 地域福祉推進に向けた現状

### (5) 障害者に関する状況

#### ① 本県の障害者手帳所持者の状況

- 本県の人口に対する障害者手帳所持者割合は、身体障害者が4.0%と最も多く、精神障害者が1.2%と続いています。

本県の障害保健福祉圏域別障害者手帳所持者数

(単位：人)

障害保健福祉圏域	構成市町名	圏域人口	手帳所持者数等 (平成31 (2019) 年3月31日現在)			
			身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者
広島	広島市, 安芸高田市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸太田町, 北広島町	1,369,462 (48.2%)	49,500 (43.0%)	10,628 (43.6%)	17,706 (53.1%)	9,361 (46.0%)
広島西	大竹市, 廿日市市	144,695 (5.1%)	6,006 (5.2%)	1,261 (5.2%)	1,397 (4.2%)	1,160 (5.7%)
呉	呉市, 江田島市	248,423 (8.8%)	12,055 (10.5%)	2,555 (10.5%)	2,658 (8.0%)	1,876 (9.2%)
広島中央	竹原市, 東広島市, 大崎上島町	220,946 (7.8%)	8,185 (7.1%)	2,043 (8.4%)	2,201 (6.6%)	1,542 (7.6%)
尾三	三原市, 尾道市, 世羅町	248,336 (8.7%)	12,263 (10.7%)	2,349 (9.6%)	2,603 (7.8%)	2,001 (9.8%)
福山・府中	福山市, 府中市, 神石高原町	518,658 (18.3%)	21,222 (18.5%)	4,566 (18.7%)	5,866 (17.7%)	3,783 (18.6%)
備北	三次市, 庄原市	88,112 (3.1%)	5,685 (4.9%)	1,009 (4.1%)	896 (2.7%)	616 (3.0%)
7圏域	23市町 (14市, 9町)	2,838,632 (100.0%)	114,916 (100.0%)	24,411 (100.0%)	33,327 (100.0%)	20,339 (100.0%)

出典 圏域人口：総務省「住民基本台帳世帯数人口」(H31.1.1現在)

身体障害者：身体障害者手帳所持者数

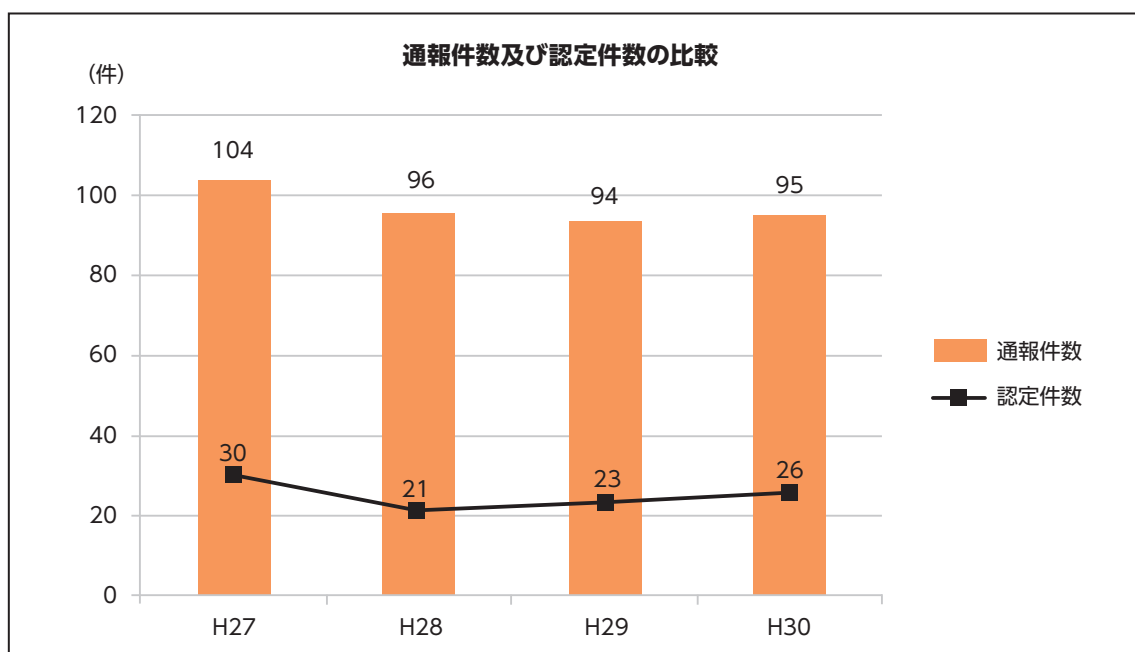
知的障害者：療育手帳所持者数

精神障害者：精神障害者保健福祉手帳所持者数

難病患者：特定医療費(指定難病)受給者数

#### ② 本県の障害者虐待の状況(養護者による虐待)

- 本県の障害者虐待(養護者による虐待)は、通報件数は微減傾向にあります。認定件数はやや増加しています。

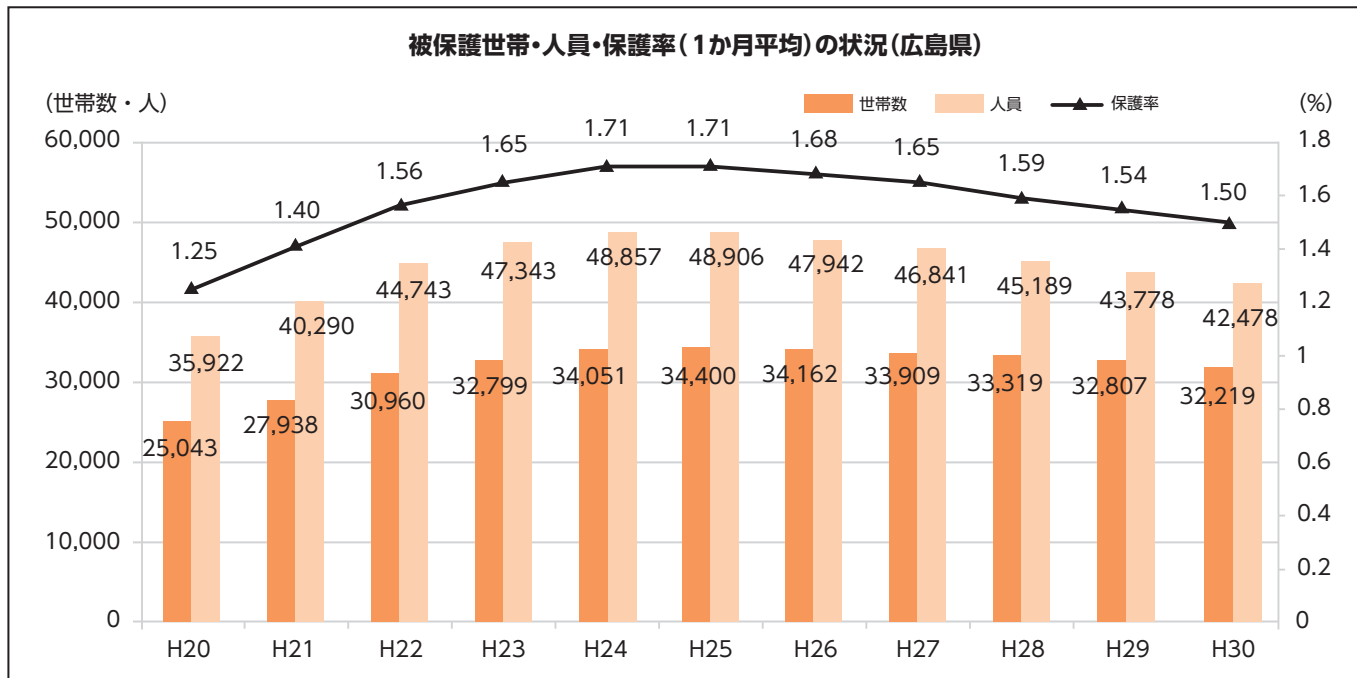


出典：広島県障害者支援課調べ

## (6) 生活保護等に関する状況

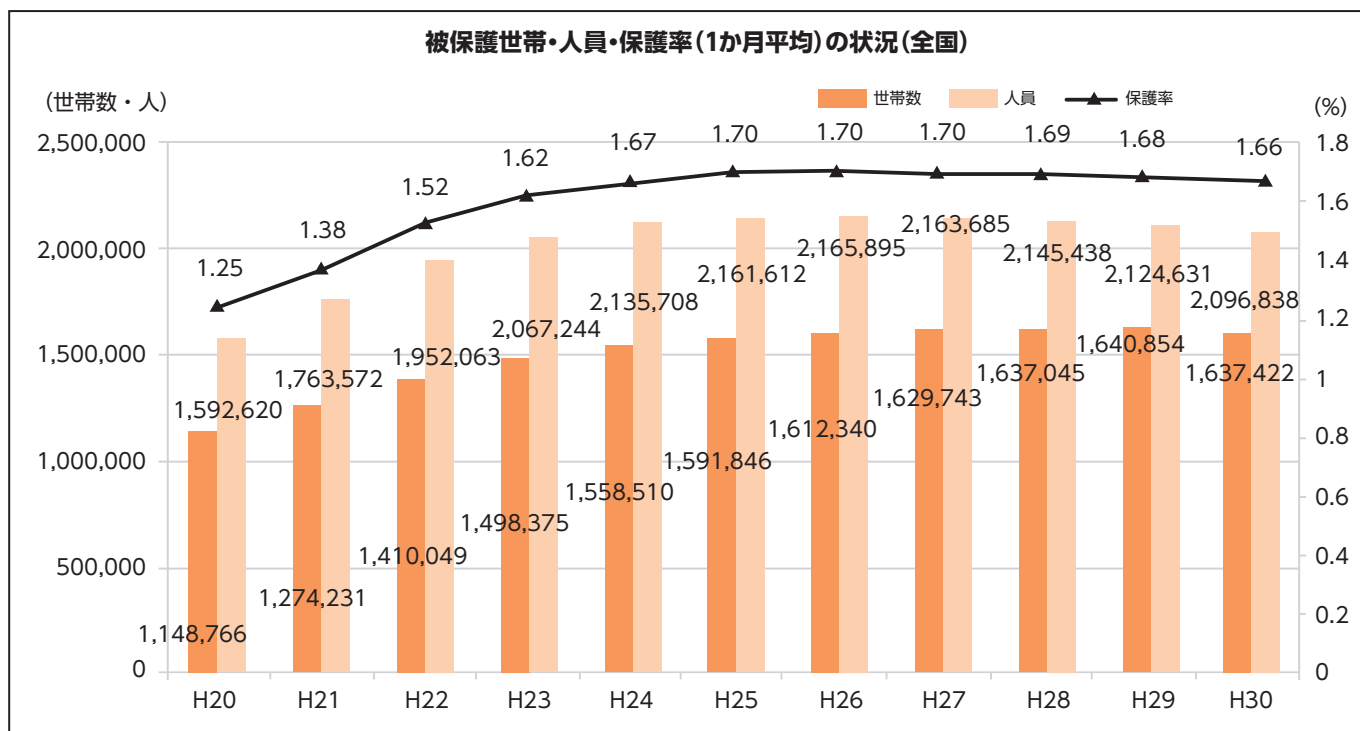
### ① 被保護世帯数, 被保護人員及び被保護率の推移

- 本県の被保護世帯数・被保護人員・被保護率はいずれも, 平成25(2013)年度をピークに減少しています。



出典: 広島県社会援護課調べ

- 全国の被保護世帯数は, 平成20(2008)年度以降増加していますが, 被保護人員は平成26(2014)年度をピークに減少しています。

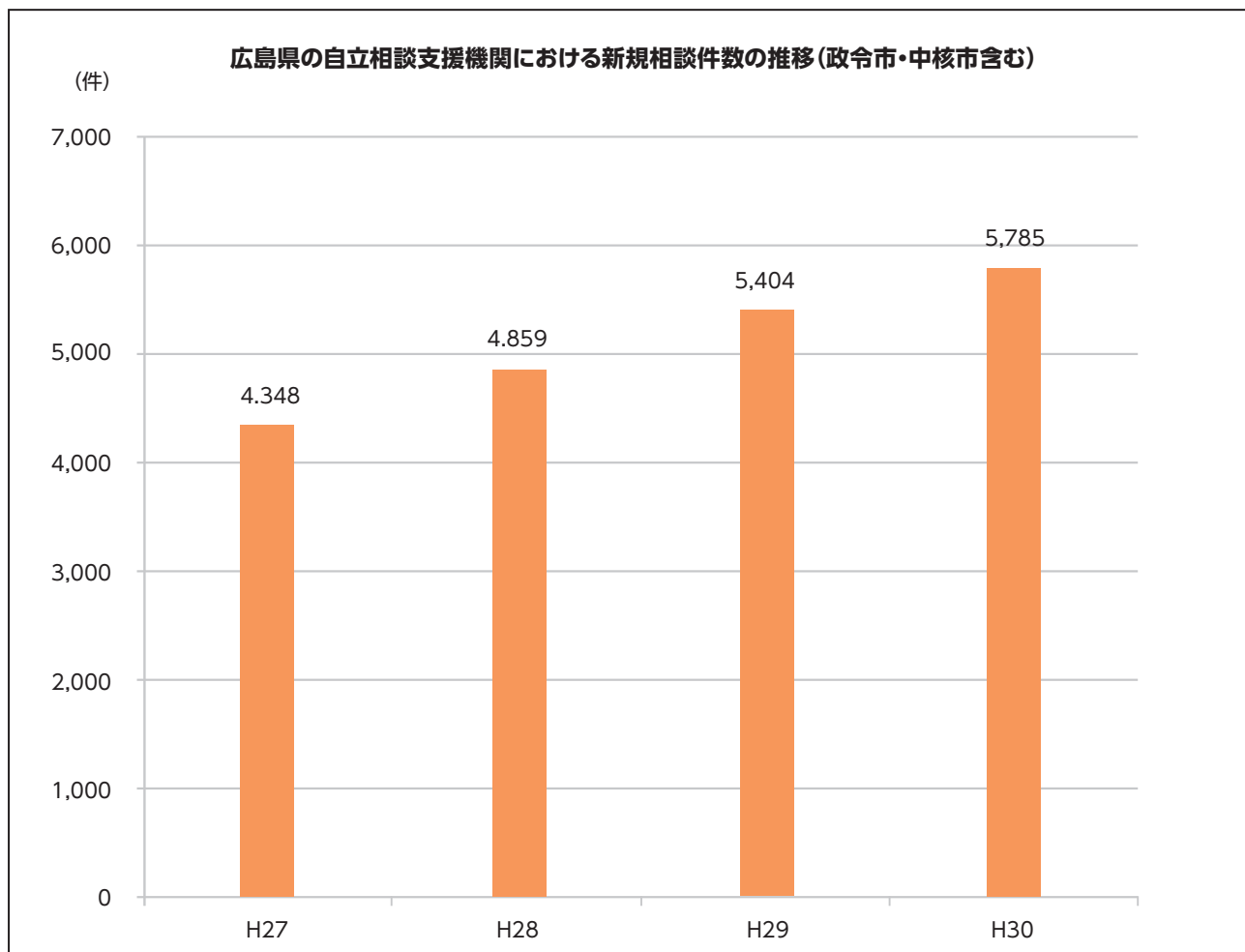


出典: 厚生労働省生活保護速報

## 第3章 地域福祉推進に向けた現状

### ② 生活困窮者自立支援法による自立相談支援事業に関する支援状況

- 広島県内各市町の自立相談支援機関が実施する、自立相談支援事業の新規相談件数は、増加傾向にあり、平成30(2018)年度における新規相談件数は5,785件で、前年度(平成29(2017)年度:5,404件)と比較して、約7%増加しています。

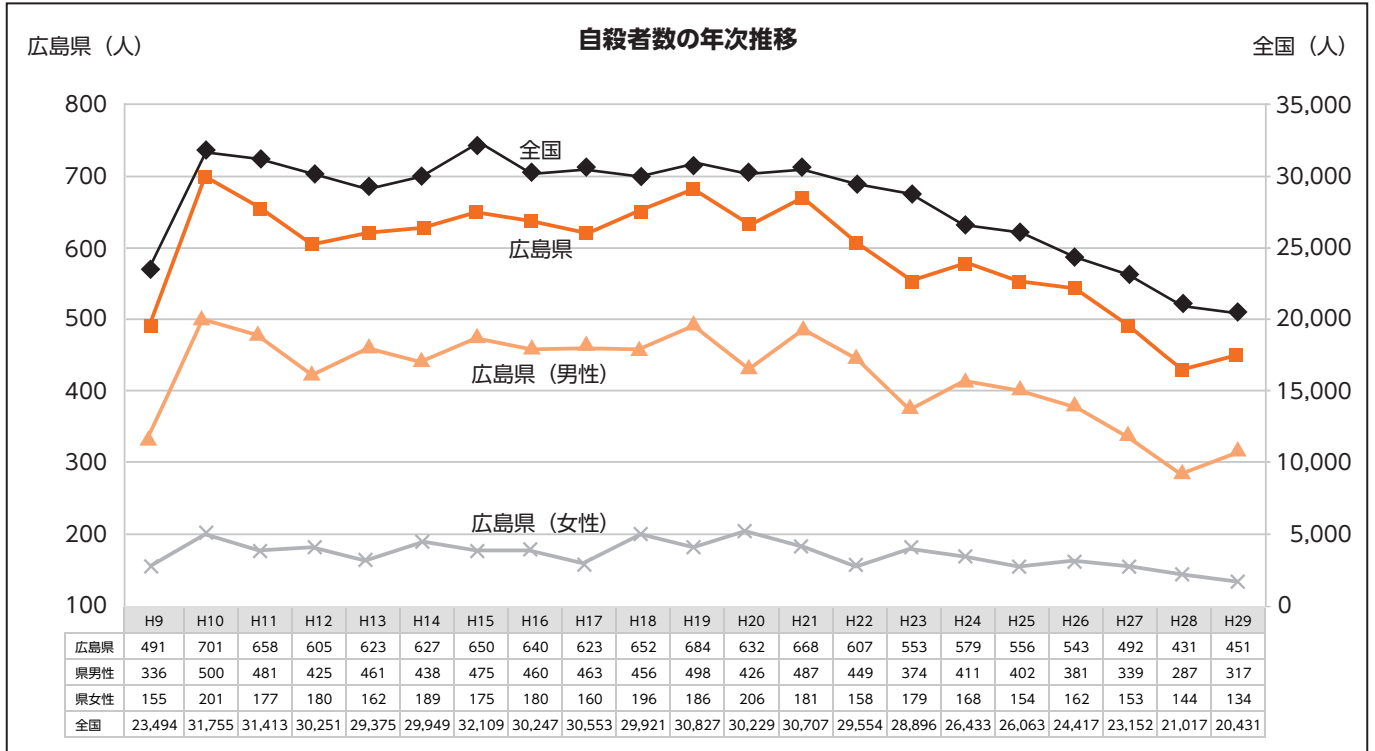


出典：厚生労働省・生活困窮者自立支援制度支援状況調査

## (7) 社会問題の状況

### ① 本県の自殺者数の状況

- 平成22(2010)年から自殺で亡くなった人の数や自殺死亡率は減少傾向に転じ、平成27(2015)年には492人となり、平成10(1998)年の急増前の水準まで減少しています。



出典：広島県「いのち支える広島プラン」(平成28年3月)より

### ② 全国のひきこもりの状況

- 平成30(2018)年の満40歳から満64歳における広義のひきこもり群(※)の出現率は1.45%であり全国の推計数は61.3万人となっています。

	該当人数 (人)	有効回収数に 占める割合 (%)	全国の推計数 (万人) [注1]
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事 のときだけ外出する	19	0.58	24.8
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出 かける	21	0.65	27.4
自室からは出るが、家からは出ない 又は 自室からほとんど出ない	7	0.22	9.1
計	47 [注2]	1.45	61.3

準ひきこもり群 24.8万人

狭義のひきこもり群 36.5万人

広義のひきこもり群 61.3万人

[注1] 総務省「人口推計」(平成30年)によると、40～64歳人口は4,235万人であることから、全国の推計数は、有効回収数に占める割合(%)×4,235万人=全国の推計数(万人)となる。

[注2] 該当人数47人のうち、現在の状況を専業主婦・主夫、家事手伝いと回答したか、現在の状態になったきっかけを妊娠、介護・看護、出産・育児と回答した者は11人であった。

(平成27年度調査(満15歳から満39歳までが対象)では、上記の者は広義のひきこもり群から除外している。)

#### (※) 広義のひきこもり群

：次の①～④のいずれかと回答し、かつ、その状態となって6か月以上経つと回答した者

- ・①趣味の用事のみときだけ外出する
- ・②近所のコンビニなどには出かける
- ・③自室からは出るが、家からは出ない
- ・④自室からほとんど出ない

ただし、何らかの仕事をしていると回答した者や、身体的な病気がきっかけで現在の状態になったと回答した者などは除く。

出典：内閣府「生活状況に関する調査」(平成31年3月)より